

中京まちづくりDAY

日時 3月9日(水)13時半～15時(1時間半程度)

新型コロナウイルス感染症拡大以降、3密の回避や外出制限、オンライン会議や在宅勤務(テレワーク)の推進などにより、これまで実施してきたまちづくり活動に大きな変化がありました。

このような中でまちづくり活動に励まれている中京区の団体の多彩な取組を紹介し、中京のまちづくりに興味のある方やこれから何か始めたいと思っ

た方はぜひご参加ください！
※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、オンライン開催になる可能性があります。

定員 30名 無料



プログラム

01 中京区役所 屋上見学

ボランティア市民活動グループ「中京・花とみどりの会」のガイドにより、中京区役所の屋上庭園を見学していただきながら、緑化やニホンミツバチの飼育についてのお話をお聞きします。



屋上で採取したハチミツの試食も！

02 まちづくり支援事業 報告会

令和3年度中京区民まちづくり支援事業の採択団体(7団体)によるまちづくり活動の報告会です。中京区ではどのような活動がされているか、この機会にぜひ知ってください！

申込方法 3月4日(金)までに右記の申込フォームまたは電話にて
問合せ 企画担当(☎812-2421)



4月は市政協力委員の改選時期です 新年度に向けて各担当区域での 選出をお願いします

市政協力委員は、市民の皆様と市政・区政のつなぎ手として、市民しんぶんや選挙公報の配布、市政広報ポスターの掲示、地域のご意見・ご要望の取次ぎなど、市政・区政の推進に欠かすことができない大変重要な役割を担っていただいています。

人と人がつながり合い、支え合うまち、「自分たちのまちは自分たちで良くしていく」という地域コミュニティづくりにご理解とご協力をお願いします。

問合せ まちづくり推進担当(☎812-2426)
文化市民局地域自治推進室地域づくり推進担当(☎222-3049)



新型コロナワクチン接種 (3回目)について

京都市では、市民の皆様の命と健康を守るため、国の方針に基づき、地域にお住まいの高齢者をはじめ、対象となる全ての方の3回目接種を前倒しして実施してまいります。

対象の方	3回目接種の開始時期	(参考)2回目の接種をした時期
65歳以上	2月～	令和3年6・7月～
64歳以下	3月～	令和3年7・8月～

※接種券が届いた方は接種を受けることができます。
※国の方針の変更等により、今後変わることがあります。

3回目接種を希望の方は、以下の接種の流れを確認いただき、接種券が届き次第ご予約ください。

- STEP 1** 接種券が届きます。
※1月20日から対象となる方に順次お届け
- STEP 2** 予約等をお願いします。



到着予定日はこちらから確認できます

個別接種の場合 ①身近な診療所・病院等へ直接予約
②定期的に受診する医療機関のない方は「京あんしん予約システム」(下記のポータルサイトからアクセス可)等をご利用ください。

集団接種の場合 下記のポータルサイトから希望する日時や場所の予約、又は接種希望登録(登録された方には接種の約1週間前にコールセンターから接種日時等をご案内します。)
※下記のコールセンターからも接種希望登録ができます。

STEP 3 予約又は案内された日時・場所で接種をお願いします。
接種券、本人確認書類、事前に記入した予診票、お薬手帳(お持ちの方)をお忘れなく！

京都市新型コロナワクチン接種コールセンター
☎050-3310-0371 / 0570-040808* / 950-0808
FAX950-0809
(受付時間：8時半～17時半、土日祝含む)
※通話定額プラン等でも料金が発生します。

京都市新型コロナワクチン接種ポータルサイト
インターネット
<https://vaccines-kyoto-city.jp/>

※接種は強制(義務)ではありません。接種による感染症予防の効果や副反応のリスクをご理解いただいたうえで、ご本人の同意のもと、接種を受けていただきます。

第一位 放火

は、昨年の火災原因(上位三位)は、

「おうち時間 家族で点検」
実施期間は、3月1日(火)から7日(月)まで
「火の始末」

寒さは和らいでいくものの、まだまだ、空気が乾燥し火災が多発するこの時季、中京消防署では春の火災予防運動を実施します。



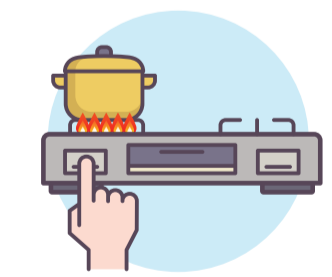
中京消防署 ☎841-6333

・たばこは決まった喫煙場所で吸う。寝たばこは絶対にしない！
・必ず灰皿を使用し、確実に

2. たばこ火災に注意しましょう。

・夜間には屋外の照明を点灯するなど、明るくする。
・車やバイクの車体カバーは燃えにくいもの(防炎品)を使う。

1. 放火火災に注意しましょう。
・建物の周りなどに燃えやすいものを置かない。
・扉や物置にはしっかりと鍵を掛けて、不審者の侵入を防ぐ。
・夜間には屋外の照明を点灯するなど、明るくする。



・調理中は絶対にその場を離れない。
・コンロの周りにふきんや紙類、調味料等を置かない。
・調理中にガス火が燃え移りやすいゆったりした服を避け、エプロンは防炎品を使用する。
・グリル内は清掃し、油脂分を溜めないようにする。

3. コンロ火災に注意しましょう。
吸殻を消す。